

## e-Japanの考察(1)

政府の「e-Japan」重点計画に基づいて、各自治体の構築する高度情報通信ネットワークの構築と、各自治体間のネットワークの構築、行政・公共分野での情報化は急ピッチで進んでいます。CATVを含む各自治体によるネットワークの構築は「地域イントラ」として、集中的に予算配分され、各自治体は競って導入を行っています。これまで、分散してあった各施設がいつのまにか光ファイバーを始めとする高速ネットワークでつながれ、そのネットワークが県を中心として県内高速ネットワークへの接続、さらに各県を結んだ政府各省庁とのネットワークへの接続となっています。今回の特集では、この「e-Japan」を中心とした情報化を始めとした現在の流れをつかんだ上で、その裏に隠れたものが少しでも書ければと考えています。しかし、なにぶんにも情報量が限られているため、多少外れた内容が含まれるかもしれないということを始めにお詫びしておきます。

「e-Japan」は、2001年1月の森政権のときにスタートした国家戦略で、2005年までに世界最先端のIT国家になることを目標としたものです。このe-Japan戦略は、そもそも2000年度に政府が着手した国家プロジェクト「ミレニアム・プロジェクト」を継承したもので、IT分野で取り組むべき施策を省庁横断的に取りまとめたものです。その後、2000年7月に開催したIT戦略会議を発展させて、総理大臣の諮問機関「高度情報ネットワーク社会推進戦略本部(IT戦略本部)」を設置して打ち出したのが、①高速・超高速ネットワークの整備と競争促進、②電子政府の実現、③電子商取引(EC)のルール策定、④人材育成の4本柱です。この中で、電子政府などの個々の項目は、基本的には従来のIT化施策を踏襲しているもので、それまでのものと異なるのは、各項目で達成すべき具体的な目標と実現スケジュールまでを設定した点にあります。具体的には、①の項目に対しては、2005年時点で3000万人が高速インターネットを、1000万人が超高速インターネットを利用できる環境にする。②の項目に対しては、2003年度までに国や地方自治体の行政内部の電子化を進め、行政サービスのオンライン化やインターネットでの公開を推進し、電子申請を紙同様に行えるようにする。③の項目に対しては、2002年までに電子商取引が可能となるよう規制改正、法整備を行う事により市場ルールを整備する。④の項目に対しては、ITを指導する人材やIT技術者、研究者を育成し、人材基板を強固にするなどとなっています。さらに、IT戦略本部はこれらの目標を達成するため、「e-Japan重点計画」を2001年3月に発表し、これまでの4本柱に「ネットワークの安全性と信頼性の確保」を加えた5分野について、全220項目の施策と実施時期を明記しました。

e-Japan戦略のうち①のネットワーク・インフラの整備だけを見れば、これまでの産業育成プロジェクトに似ていますが、電子政府の構築を始めとしたアプリケーションやソフトウェアとそれを使いこなす人材の育成までを網羅し、それらをインフラ整備と並行した施策としている点で、これまでのプロジェクトとは異なります。実際に、行政インフラの整備や法整備、規制緩和、あるいは民間企業による商用サービスの提供、技術開発などITのあらゆる面でe-Japan戦略に盛り込まれた各項目に対応した動きが活発化しています。

e-Japanは国家プロジェクトであり、それなりに成果が出てきてはいますが、もう少し現状を見てみたいと考えています。(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 10月7日号

特集 1億総カメラ化計画

→カメラ付携帯が普及している。また、7000万以上の携帯電話が国内で利用されているが、そのほとんどにカメラがつく日は近い。さらに2003年には現在15万画素程度のものが、デジカメと同等の100万画素のカメラが載るようになる。高精細な目を携帯がもたら、デジカメやカメラ一体型VTRは存亡の危機にさらされる。

解説 デジタルHDTVを強制へ 米国デジタル放送が急展開

→議会とFCCが動いて、これから出荷するすべてのテレビ日常はデジタル放送チューナを内蔵させる方針を打ち出した。なかなか進まない地上はデジタル放送。今度こそ巨大なデジタルテレビ市場が誕生するか。

○日経パソコン 10月14日号

特集 自分仕様で作るホームネットワーク

→一家に2台以上のパソコンが当たり前になった今、そろそろホームネットワークを考えては。インターネットもみんなで使えるし、ファイルやプリンタの共有もできる。現状と目的をはっきりさせ、自分なりのネットワークを構築するには。

レポート デジカメ画像レスキュー術

→思い出のいっぱい詰まったデジカメの画像。メモリカードから読めなくなってしまったらどう対処すればいいか。

レポート 電子メールのビジネスマナー

→ビジネスに必需品となった電子メール。電話とは違うし、手紙とも違う電子メールのマナー集。注意しなければならない電子メールなりのマナーの特集。

○日経ネットビジネス 10月号

特集 オレたちが作る最強の組織

→ネット戦略に耐えられる組織とは。部門や企業すら越えた柔軟な連携を迫るネット戦略に、従来の硬直した組織は耐え切れない。どのような組織がネット戦略に対応した組織か。

特集 システム投資の無駄を削る

→システム構築コストや運用コストが膨らむことによってネットビジネスでは利益が出ないといわれている。ネットビジネスで成功するには、SIの言いなりにならず、運用コスト、初期コストの細部にわたって1つづつ削ることによってシェイプアップすることができる。

○DOS/V magazine 11月1日号

特集 静音コンパクトマシンの誘惑

→小型のデスクトップ、コンパクトマシンと相反する静音マシン。自作マシンとしてどう両立させるか。高性能になれば電源冷却も必要で、ファンの音は大きくなってしまう。市販品の組み合わせと、お勧め静音パーツの紹介。

特集 ギガビットイーサで行こう!

→価格も安くなったギガビット。メタル線で構築するホームネットワークの構築とその実力は。

